

# 井尻公民館だより

(令和4年3月1日発行)

<令和4年3月号> (第216号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ( )  
主事 相澤陸奥実 ( )

春隣り剪枝の煙川渡る

飯島武志



絵手紙愛好会

新田勝章

そこかしこで春の気配が感じられる季節になりました。各地から春の訪れを告げる様々な便りが寄せられています。この季節は「三寒四温」という言葉があるとおり、暖かい日が数日続き、ようやく冬が終わったかなと思っていると、急に寒さが戻ったりします。まだ、その寒さが残っている今日この頃です、梅の花のほのかな香りも感じ、やわらかい春の日差しが嬉しい季節になってきました。

3月は、卒園、卒業、定年退職など人生の新しい時間が始まる節目ともなりますね。

月日の経つのは早いもので、公民館活動一期（令和2年3年度）も、終わりの月となりました、今期はコロナ禍で公民館事業も含め活動に制限も掛り、思った活動が出来ず地域の皆さん、利用者団体の皆さんご苦労ご迷惑をおかけしました。

又、ご支援ご指導、頂いた運営委員会の皆さん方にもご面倒をおかけしました。

次期は新たな体制で行って行きます、引き続き、井尻公民館へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## お知らせ

新型コロナの感染がいまだに拡大が収まりが見えない状況です。

予定しておりました、**ふれあい祭（作品展）は残念ながら中止とさせていただきます。**時期をみて計画していきたいと思っておりますのでご理解願います。

## 公民館 大掃除のお願い

・日時：3月12日（土） 9時～

・お願いする方々・・・公民館利用者団体各1名以上（絵手紙・書道・俳句・川柳  
和太鼓・手芸・太極拳・食生活改善推進委員・ダンス・運営委員）

絵手紙愛好会の活動作品です、作品展に予定していた作品です、  
 愛好会は、毎月・第三・日曜日の夜間に活躍中です。



## 豆知識

いよいよ春爛漫の季節がやってきました。

多く草花は、なぜ、春に花を咲かせるのでしょうか？

答えは、暑い夏が近づいているからです。

植物は多くは花を咲かせタネをつくるためです、タネには、大切ないろいろの役割が有ります、一つは不都合の環境に耐えて生き延びることです。

タネには、植物の姿では耐えられない、暑さや寒さ、乾燥などの不都合な環境を耐え忍ぶ力を持っているのです。

暑さに弱い草花たちにとって、毎年訪れる不都合な条件は、夏の暑さです、そのため、生きづらい夏をタネの形で過ごすために、春につぼみを作って花を咲かせ、タネを作り、姿を消していくわけです、ですから、多くの草花が春に花を咲かせるのです。

次の世代を生きる子孫に命をつないでいく季節が春なのです。

春は、多くのタネが発芽し、木々の芽が萌え、生命活動が始まる季節のような印象が有りますが、春に花咲く草花たちにとって、花を咲かせることは、生涯の終わりとなる活動、すなわち終活に当たります、これらの植物にとっては「春は終活の季節」とも言えます。



菜の花

植物の生きる「しくみ」  
(参考文献)



カーネーション

(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2022/1/28

神頼み一字違いの金頼み  
神様も味方ですよと母の声  
受験生神に頼らずスマホ撮り  
戦いの無くなる世こそ神世界  
神たのみ神社の絵馬は花ざかり  
神じゃない見直し大事何事も

(俳句)

俳句愛好会はお休みさせて  
いただいております



(短歌)

(古屋和子)

如月に北京五輪開幕す  
コロナや怪我の選手気の毒  
剪定の枝の片付け冬仕事  
農作業など年々重荷

(久保 晃)

温暖化言われる中のこの冬は  
例年よりも寒さ厳しく  
列島の四季は年々僅かづつ  
亜熱帯化へ変化の兆し